

2017年度浜松地区委員会

2017年度県連委員会

担当	事業内容	問題・課題	担当	事業内容	今後の検討事項
地区協議会	・地区役員の選出 ・地区規約の改定 ・事業計画の承認 ・予算決算の承認 ・その他協議会長が必要と認めたこと	力不足。経験不足。 雑務が非常に多い。事務(何を誰に伝えれば良いか?)。事務長の代役は荷が重い。 地区大会の奉仕についてはプログラム作成段階で位置づけを明確にしたい。○×クイズ、メルアド記入欄が欲しい。 富士章が少なかった。新進歩過程への対応が不十分。 委員数の不足。太田山地区倉庫の修繕要。 アの活動のみに留まった。 進歩委員会以外は委員長新任の為、戸惑いながらの推進。組拡以外は委員会が開かれていない。	財政委員会	①県連盟事業運営資金の確保及び補助金・購買事業の確立 ②事業予算の策定、予算履行状況の把握 ③その他	地区にも指導者要請委員会が必要。 ・指導者要請進歩委員会? ・全団委員長により構成? 地区も組拡と広報を一緒にすれば? 地区HPのリニューアル。県連との繋がりが不足していた為、広報&組拡両委員長にメールを入れてもらうようにする。 安全委員会も必要、野営と安全を一緒にしたら? 全委員会に全団からの委員選出は不要。 全委員会にコミグループも入ってもらう。 県連の有効な事業を受ける委員会は明確にする必要がある。(県連の委員会を有効活用し無暗に地区の委員会数は増やさない)
地区委員会	・事業運営及び補正予算等運営に必要な事項の審議、調整、決定 (地区の意向を県連理事会に反映せしめ、また理事会の方針及び決定事項を報告)		総務委員会	①理事会、県連盟定時総会、納涼交歓会、新年賀詞交換会等の企画、運営を行う。 ②事務局業務の円滑な推進を図る。 ③県連ホームページの充実と活用促進に取り組む。 ④各委員会の所掌に属さない業務等を推進する。	
総務委員会	ア:各委員会業務の総合調整 イ:協議会の総会並びに中間総会の事務に関すること ウ:規約の改正に関すること エ:スカウト関係以外の団体との調整に関すること オ:公印の保管に関すること カ:その他、他の委員会に属さないこと キ:事業計画に基づく予算案の策定に関すること ク:事業補助金の運用に関すること ケ:地区運営に関する財源確保等、財務に関すること		指導者養成委員会	①任務中の支援(インサーピスサポート)を積極的に推進するとともに、隊指導者の指導技術を強化し、知識、技能、資質向上と楽しいスカウティングの展開を図る。 ②県連盟タスクチームを活用し、団、隊指導者への支援の推進や実践に役立つツールの提供など具体的な支援を積極的に進める。 ③スカウト技能(野外活動技能)を提供し、身に着ける指導者を育成する。 ④ユース年代の活動を支援するため、研修や訓練への参加支援とスカウティングの活性化を図る。 ⑤野営装備品メンテナンスと整理整頓、備品の維持の見直し、蔵出し、蔵入れのルールの実践と管理。	
組織拡充委員会	ア:ボーイスカウト運動の普及拡充に関すること イ:スカウト募集及び友情章に関すること ウ:県教育委員会授業外学習ポイント制度に関すること エ:新団結成の支援に関すること		進歩・国際委員会	スカウトの進歩及び国際関係事業を、県連盟コミッション一との連携、協働することによりスカウトの成長に貢献する。 ①BS部門・VS部門進級課程改訂への対応・本年9月1日から施工される新たな進級課程への各団の移行を促進する。 ・進歩過程改訂に伴って変更・追加される技能章の審査員を募集・承認・委嘱する。 ②国際理解・国際交流・国際貢献の促進 ・海外派遣、国際交流の活動報告会を開催する。	
進歩委員会	ア:進級審査及び面接に関すること イ:技能章審査員、指導員の選任に関すること ウ:スカウト記章の申請及び授与に関すること エ:スカウト顕彰に関すること		野営・行事委員会	ボーイスカウト活動の認知、スカウトの成長に貢献できるプログラムを実施あるいはサポートすることにより地域社会に貢献する。 ①隊の枠を超えた、スカウト仲間作りのサポート ・JOTA/JOTI支援、スカウトフォーラム、開催 ②地域社会との協働 ・緑の募金還元金の有効活用 ブロック、地区、団、隊等において、緑化事業等による地域社会への貢献。尚、ブロック事業については委員会が主管する。 ・防災キャラバン、静岡子ども体験フェスティバルをサポートし、ボーイスカウト活動のPRに貢献する。	
野営行事委員会	ア:地区主催事業の後方支援に関すること イ:他の団体、機関の企画する行事への支援に関すること ウ:地区備品の管理に関すること エ:地区行事等の安全管理に関すること		組織拡充・広報委員会	・登録人員の減少を食い止める。 ・団の資質向上を目指す。 ・団の組織重視への意識改革 ・募集活動を推進する「対外発信力」の強化 ①組織拡充顕彰 友情章による顕彰、顕彰制度(たちばな賞)の推進、県連誌「たちばな」へ受賞者名の掲載、地区「一番団」県連総会資料に掲載 ②組織拡充推進 スカウト展への支援「組織拡充大会」の開催、団委員研修所参加の促進、新規横断幕作成、掲示パネル作り替え、規模別組拡視点分析&改善の方向性シート企画作成 ③団委員長、団委員セミナー ブロック単位での団委員長。団委員セミナーの開催とその支援 ④Facebookの活用 対外発信/PRの強化、活動情報の共有、「Facebook活用講座」の開催 ⑤HPの活用 「たちばな」の掲載、各種申請書類/研修案内などを掲載 ⑥県連機関紙「たちばな」発行 県連HPへの掲載、「スカウトファミリー」の掲載 ⑦マスコミ活用 「マニュアル」を活用し、県連/地区/団のマスコミ対応力を強化 ユニクロ・いサイクル活動への協賛 ⑧地域への活動PR 活動写真のパネルを作り展示 ⑨委員会開催 ⑩事業計画・予算計画の策定、事業報告・決算報告の作成、事業の推進機材の点検、整備	
広報委員会	ア:県連広報誌等の原稿募集に関すること イ:地区ホームページ運営管理に関すること ウ:報道機関への情宣活動に関すること エ:その他、広報に関する事項の研究等	セーフホーム・安全委員会	①冒険的かつ楽しい活動を実施する上で、指導者の安全に対する知識と技能を学ぶため「安全促進拡大フォーラム」を開催。今年度は東部地区での開催を予定。 ②安全意識を向上し大きな事故を防ぐための「ヒヤリハット体験」を再募集。 ③セーフホーム・安全委員会の推進を図る。 ④各地区の安全講習会・救急法講習会の実施状況を確認し、指導者として身に付ける知識技能を推進する。 ⑤医療チーム編成するための名簿作成 ⑥特別支援の必要なスカウトに対する研修会を開催。		
地区コミッション・グループ	・本運動が規定に従い展開するように努めるとともに指導者に対し助言及び指導を行う ・スカウト教育について純正な推進を図り教育面及び指導面で地区を代表する ・団に対して助言及び指導並びに援助を行う	コミッション委員会			